

情報公開用文書

2026 年 9 月 11 日作成

研究課題名	虚血性腫瘍環境で発現誘導される遺伝子に着目したがん早期診断マーカーの開発
研究の対象	神奈川県立がんセンターで、膀胱がん、腎がん、肝内胆管がん、大腸がん、胃がん、前立腺がん、子宮体がん、肺がん、乳がん、と診断された患者さんのうち、2010年1月から2026年8月の間に神奈川県立がんセンターで組織生検、或いはがんの外科切除を受けられた方計1400名と、脳に転移したがんを手術された患者さん50名。比較対照として、文部科学省科学研究費助成事業「学術研究支援基盤形成」のコホート・生体試料支援プラットフォームに属する横浜市立大学附属病院バイオバンク室より、匿名化された健常人血清の提供を受けます。
バイオバンクから提供する試料	医学研究への協力をお願いについて説明を受け、包括的同意の確認書で同意を得られた方の試料 健常人血清 20人 2020年7月1日～2026年7月31日
研究目的・方法	がんの中には完治が難しい予後不良なものもありますが、早期に発見して手術切除するなどの治療を迅速に開始することで、治癒が期待できます。神奈川県立がんセンター臨床研究所では、がんの早期診断マーカーの開発研究を進めています。この研究では、ヒト膀胱がんの培養細胞を用いて候補遺伝子を発見しました。この遺伝子からできる酵素と、その酵素が作るがんの早期診断マーカー候補物質とについて、既に生検や手術で切除したがん組織や研究用に頂いている血液で調べることを目的としています。神奈川県立がんセンターにて「遺伝子解析を含む生命科学・医学系研究への協力をお願い」に書面で同意して頂いている患者さんを対象に、生検、或いは手術で採取されたがん組織やこれに付随する非がん組織、研究用に頂いている血液、を使って、免疫染色や質量分析と呼ばれる技術などを使って、遺伝子の発現、早期診断マーカー候補を分析します。血液を用いた研究については、対照として、横浜市立大学附属病院バイオバンク室より健常人血清の提供を受け、分析は株式会社新日本科学安全性研究所へ業務委託して実施します。これらの研究結果を臨床情報と照らし合わせることで、早期診断マーカーとしての利用可能性を検討します。
研究期間	2026年9月7日(または横浜市立大学承認日)から2028年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	神奈川県立がんセンター 試料: 生検、或いは手術で得られたホルマリン固定・パラフィン包埋組織、血漿、血清 情報の種類: 診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、臨床検査値、臨床所見・経過 横浜市立大学 試料: 健常人血清 情報の種類: 年齢、性別、試料採取日、感染症情報
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取日
お問い合わせ:	
○研究に関することは 研究責任者へ	所属: 神奈川県立がんセンター臨床研究所 氏名: 宮城洋平 メール: miyagi.0e82r@kanagawa-pho.jp 電話: 045(520)2222
○研究への利用を拒否する場合は 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 事務局 メール: sentanbb@yokohama-cu.ac.jp 電話: 045-787-2800	